

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年4月7日

研究・研修課題名	がん病態栄養専門管理栄養士、病態栄養認定管理栄養士の資格更新のための学会及び研修会参加
研究・研修組織名（所属）	栄養治療室
研究・研修責任者名（所属）	平井 順子（栄養治療室）
共同研究・研修者名（所属）	

目的及び方法、成果の内容

①目的（800字程度）

平成27年度、がん病態栄養専門管理栄養士と病態栄養認定管理栄養士の資格を取得した。この資格は、がん患者の栄養管理・栄養療法について高度な知識と技術を習得した管理栄養士の育成を図るものである。がん診療連携拠点病院の栄養士として、がんに対する予防・治療・ケアに食と栄養の側面から寄与するために必要な知識と技術を修得し、また、院内のがん患者の栄養管理のレベルを向上させることを目的とする。

②方法（800字程度）

がん病態栄養専門管理栄養士と病態栄養認定管理栄養士の資格を更新するためには、学会や研修会参加は必須である。研修会参加と学会発表を目指す。

（がん病態栄養専門管理栄養士の資格は、病態栄養認定管理栄養士資格を有していることが必須条件であるため、これら2種類の資格を更新する必要がある。）

1) 第20回日本病態栄養学会年次学術集会参加

(2017年1月13～15日、国立京都国際会館)

2) 日本病態栄養学会教育セミナー・がん病態栄養セミナー 参加

(2016年6月5日、2016年7月10日、大阪)

③成果（データ等の図表を入れて2000字程度）

1) 第20回日本病態栄養学会年次学術集会参加

(2017年1月13～15日、国立京都国際会館)

第20回日本病態栄養学会年次学術集会に参加し、病態栄養認定管理栄養士の資格更新のために必要な単位のうち5単位を取得できた。

学術集会では、がん化学療法放射線療法における食事の工夫、がん緩和ケアにおける栄養サポートなどがんに関するシンポジウムも多くあり、日常業務での患者さんへの対応へ応用できる内容も多かった。また、ポスター発表では症例発表が多く、経過なども確認しながら術後の管理など栄養管理の方法について学ぶことができた。

2) 日本病態栄養学会教育セミナー・がん病態栄養セミナー 参加

(2016年6月5日、2016年7月10日、大阪)

病態栄養認定管理栄養士の資格更新のための必須研修である、日本病態栄養学会が主催する教育セミナーに参加し、資格取得に必要な単位数のうち5単位を取得できた。

教育セミナーの内容はがんと嚥下機能であった。胃癌の病態についてと嚥下機能について講義を受けたあと症例検討が行なわれた。全体をとおして、病態別の栄養管理について具体的に必要栄養量の算出、栄養管理方法、モニタリング方法などについて学ぶことができた。

①胃癌の講義と症例検討

胃癌のステージや病態、術式や食事療法について確認した。

症例検討では、SGA（主観的包括的評価）で栄養評価を行い、必要栄養量の算出、栄養摂取方法と栄養指導、他職種との連携などについて検討を行なった。特にNPC/Nの算出について確認することができた。

②嚥下機能の講義と症例検討

症例検討はCOPDと誤嚥性肺炎の既往のある患者について行なった。

MNA-SFによる栄養評価、悪液質と侵襲の状態の確認、サルコペニアとその原因（加齢、活動、栄養、疾患）、必要栄養量の算出方法について確認した。また、嚥下障害の原因とスクリーニング、リハビリテーション栄養ケアプラン（栄養投与ルート、嚥下調整食レベル、行なうべきリハビリ）について検討を行ない、患者の生活背景などを考慮した栄養ケアプランについて学ぶことができた。

なお、今回の申請で予定していた「平成28年度がん病態栄養セミナー」（日本病態栄養学会主催、2016年6月5日）には、募集人数多数ため参加できなかった。